



2018年2月28日

みんなの森
ぎふメディアコスモス

平成29年度 岐阜市男女共同参画優良事業者表彰

近年、仕事と家庭の両立を目指す「WLB(ワーク・ライフ・バランス)」に注目が集まる中、岐阜市は積極的にWLBに取り組む企業を「男女共同参画優良事業者」として、表彰しています。

ここでは、今年2月に行われた平成29年度の表彰式の様子をレポートします。

少子化対策や労働力確保が社会全体の課題となる現代。個人の生き方やライフステージに応じた多様な働き方で、優秀な人材が仕事と家庭を両立しながら能力を発揮し続けるWLBの推進が求められています。

WLBに向けた働き方改革は、企業にとっても生産力向上や長時間労働の是正などにつながる「明日への投資」になるはず。

WLBは未来の社会を元気にする

そこで岐阜市では、WLBに取り組む事業者を「岐阜市男女共同参画優良事業者」として、表彰してきました。表彰式には、柴橋正直新市長が登場。「女性の活躍や多様な人材の活用は、企業と地域の活性化につながる」とし、先進的な取り組みをロールモデルとして発信することで、誰もがイキイキと働ける市にしていきたいと語りました。

▶ 式では、今年2月に就任した柴橋正直新市長が表彰状を授与した。



▶ 「誰もが働きやすい岐阜市」を目指したいと、笑顔を見せる市長と受賞者。



CLOSE UP

『輝け!ワタシ×ぎふシゴト』 ～企業のホンネ・主婦のホンネ～

女性の不安や疑問に企業も注目!

パネルディスカッションでは、パネリストとして企業の人事担当者3名が参加し、女性3名の疑問に答えました。子どもの帰宅時には家にいたいとパートタイムを選択した女性は、子育て中の女性が具体的にどんな働き方をしているかを質問。十六銀行の山下氏は「パートタイム、フルタイム、正社員と状況に合わせた登用制度と支援をミックスし、キャリアアップを支えている」と話しました。育休中の女性が復帰への不安を語るなど、和光会グループの田實氏は自身も3人の子育てと仕事を両立していることを挙げ、「まず上司や家族と復帰についてきちんと相談



主婦目線の質問と、具体的な事例を踏まえた企業側の回答に、多くの観客が熱心に耳を傾けた。

し、復帰後のイメージを持つことが大切」とアドバイス。注目している働き方を尋ねられたアース・クリエイトの岩田氏は、「複数の会社で人材を共有し、より多くの選択肢の中で適した場所・環境・時間の仕事を提案できる仕組みがあれば、支援の幅が広がる」と、思いを語りました。

パネル ディスカッション

企業パネリスト

(株)十六銀行 経営管理部 人事グループ課長代理	山下 鼎弘 氏
和光会グループ 人事部 採用管理課課長	田實 京子 氏
アース・クリエイト(有) 取締役営業本部長	岩田 良 氏



これまで優良事業者に選ばれた企業3社が参加し、子育て中の女性から質問を受けた。